

あいわだより

2026/05/08 発行号 会津若松市倫理法人会

会津若松市倫理法人会 第1223回 モーニングセミナー 講師 「井島 慎一 氏」

香川大学大学院地域マネジメント研究科特命教授



会員スピーチは、昆野綾花氏。先日の倫理経営講演会の懇親会では、司会を担当して、大反響がありました。その司会をがんばるまでの過程で学んだこと。直前の実行委員会まで、予定もあまり合わせられず、正直やる気もなかったようですが・・・(ぶっちゃけすぎ(笑)) 直前の実行委員会に参画することで、周りの熱量がじわじわと伝わってきて、だんだんとやる気になっていき、いざ臨むことができた。どんなに小さなことでも、自らの主体性を拡張、

獲得できるかにかかっていることを学んだようです。自分にできる他者への影響力を信じて、関わることの多い子ども達へと、主体性を促す行動をしていきたい。と意欲を示していました。が、この日の輪読でも隣に座っていた小学生の参加者と、一緒に読むことを勧めるという実践を実際にしていました。先に「行動ありき」の姿勢が、とても素敵ですね。

講話は、当単会の井島慎一様が、単身赴任先の香川県から凱旋帰郷されての登壇でした！元会長の松澤典之さんとは、学生寮時代の親友というご縁があって倫理に入学し、お忙しい中でも、いつもZOOMでご参加くださっている当会に欠かせない存在の一人です。学生時代の学びも含め、今年3月に市役所を定年退職されるまで「政策」に関わってこられた40年間を振り返り、特に色濃いこの10年間の葛藤、やり終えて更なる挑戦に進まれた経緯に、学ばれたこととお話してくださいました。4時に起床し、出勤時間は5分以内で、5時から20時までは教員・研究者として自分の時間を確保したという新しい環境。きっと大変な変化もあるのだと思いますが、「心即太陽」「捨我得全」など、葉の言葉を引用しながら語られ

あいわだより

2026/05/08 発行号 会津若松市倫理法人会

会津若松市倫理法人会 第1223回 モーニングセミナー 講師 「井島 慎一 氏」

香川大学大学院地域マネジメント研究科特命教授



姿は、とても充実した新生活を過ごされているのだと伝わって参りました。想いを持って「議会改革」に携わってこられ、元議員さんも駆けつけてくださったのも印象的でした。最後に、おまけとして、葉の中に出てくる単語ランキングをさっと見せてくださったのですが、多い方にランクインする「幸」87に次いで、「死」85と続く・・・など興味深いことをサラッと教えてくれるのです。こうした「学者らしい研究」については、次回ご教授賜りましょう！この度は、素敵なモーニングタイムをありがとうございました！

(春田事務長)

5月7日のモーニングセミナーの感想です。今朝の講話者の「井島慎一」さんは、永年当会津若松市倫理法人会の会員でもあり、また、37年間の市役所勤務を終え、今年の春からは会津を離れ、四国地方「香川大学」大学

院へと活躍の舞台を移された方でした。市役所職員（最終職歴は総務部部長）として永年培ってきたスキルを生かし、最近の数期間は、東北大学へリスクの為に毎週通学されて、ご自身のスキルアップに磨きをかけて、来られたとのこと。お話を伺いながら感じたことは、「ご自身にとって”人生の中で一番大事な事”を見つける事が出来て居て、とても幸せな人生を歩いて行かれる人だなぁ！」と思いました。井島さんにとっての一番大事な事は、「政策」

とのこと。我々一般人にはあまり馴染みがないワードですが、井島さんにとっては、生涯を通じて研究の対象であり、また、自身の才能を一番輝かせるモノの様でした。そして何よりその研究に取り組むための思考の基礎の一部に、しっかりと実践倫理の「心即太陽」や「捨我得全」の考え方が土台となり、全体を組み立てるための素材となっていると感じました。（石井会長）